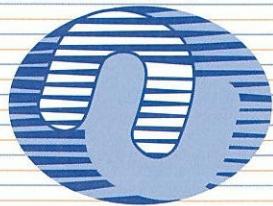


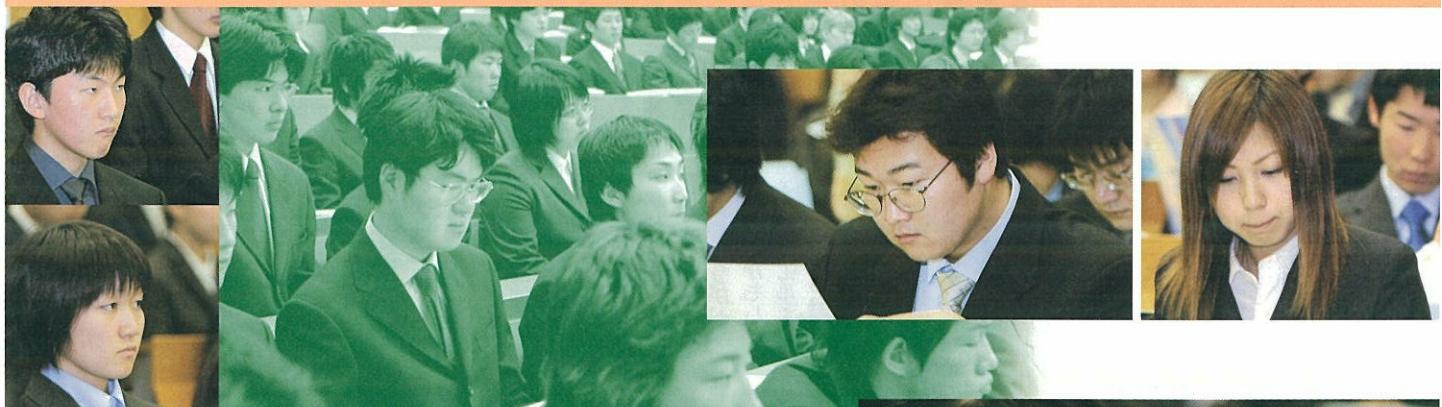
平成14年5月2日
発行 新潟国際情報大学



国際情報 INTERNATIONAL & INFORMATION

新潟国際情報大学広報 第15号

〒950-2292 新潟市みずき野3丁目1番1号 tel 025-239-3111 fax 025-239-3690 E-mail somu@nuiis.ac.jp URL http://www.nuiis.ac.jp



未来への志高く、新しき学び舎へ。



告 辞



養教育による人間形成を心掛けております。

本学の目指す所を理解頂きたいと思います。

新入生の皆さんの中には社会人入学の人もありますが、高等学校を卒業して直ちに本学へとい

りますが、高等学校までの教育においても、生徒自らが考える事に力が入れられていますが、それでも先生が教えるという立場が強かったのではない

でしょうか。

然し、大学生活の中では、皆さんが自ら考え、自ら発言し、自ら行動するという内発的な自主性を強く生かして下さい。

そして、勉学は勿論の事、何事に対しても、その結果については説明できる責任を持たなければなりません。

我々日本人は集団的志向の強い国民と言われており、これには悪い意味も良い意味もありますが、人生流れに身を任せて生きるのではなく、自らの価値観を持ち、自分の意志で考え、努力しようとあります。

この度、本学に入学を許された皆さんは情報文化学科一三〇名、情報システム学科一九四名、合わせて三一四名であります。

本学は大学設置基準の大綱化、即ち大学規制緩和の中で、「二十一世紀」に向け、平成六年四月に開学した新しい大学であります。

日本文化の理解と認識を基に、国際的視野を持ち、情報、人文社会科学の分野で役立つ意欲ある、健全な心を持つ、個性豊かな人物を育成するのが目的であります。

そして情報文化学科では、外国語の習得と共に、わが国の文化と対比しつつ、異文化を理解、認識し、人文社会科学の立場から役立つ人物を養成する事を目指し、情報システム学科では英語の習得と共に、グローバルに広く構築されつつある情報システムの理論と実際を学び、その能力を社会で活用しうる人物の養成を目指しています。これら両学科での教育のため、教員の中には、国内企業での豊かなキャリアを持つ教員、国外四か国出身の教員の人達もおります。

同時に両学科での基礎・共通科目を通しての教

新入生の皆さん、ご入学おめでとう。本田赳氏に入学式を挙行するに当たり、新潟国際情報大学の役員、教職員一同を代表し、心からお祝い申し上げます。

この度の入学は皆さん自身にとっての喜びであることは申すまでもありませんが、本日ご列席下さいましたご父兄の皆様も大層お喜びの事と存じております。

そして、若さに溢れた前途有為の皆さんを迎えることができるわが大学にとりましても大変な慶びであります。

この度、本学に入学を許された皆さんは情報文化学科一三〇名、情報システム学科一九四名、合わせて三一四名であります。

本学は大学設置基準の大綱化、即ち大学規制緩和の中で、「二十一世紀」に向け、平成六年四月に開学した新しい大学であります。

日本文化の理解と認識を基に、国際的視野を持ち、情報、人文社会科学の分野で役立つ意欲ある、健全な心を持つ、個性豊かな人物を育成するのが目的であります。

そして情報文化学科では、外国語の習得と共に、わが国の文化と対比しつつ、異文化を理解、認識し、人文社会科学の立場から役立つ人物を養成する事を目指し、情報システム学科では英語の習得と共に、グローバルに広く構築されつつある情報システムの理論と実際を学び、その能力を社会で活用しうる人物の養成を目指しています。これら両学科での教育のため、教員の中には、国内企業での豊かなキャリアを持つ教員、国外四か国出身の教員の人達もおります。

同時に両学科での基礎・共通科目を通しての教

い発展を遂げた日本経済も今や沈滞し、諸外国から経済政策の失態を非難されていますが、日本の工夫と努力により、暫くの期間を経て、回復するものと信じています。

然し、紛争の「二十一世紀」と言われる如く、文明衝突、民族間の抗争、かつての宗主国の人達と土着民族の人達との争いなど、地球上各地での紛争は絶えず、そのため飢えに苦しむ人達が少なくありません。

それ故、地球上の安全保障も大切な事です。幸

い皆さんは本学で国際化、グローバルな情報化を基本とした教育を受け、学習することになります。

将来はそれぞれの立場で、どの様に人類の幸せに貢献する事ができるか、これから学生生活の中で考えて欲しいと思います。

寒かつた冬も去り、待ち遠しかった桜咲き、柳枝垂れる春となりました。

新潟の地において、皆さんは大学生活を送る事になりました。皆さんが勉学に勤しみ、学生生活を謳歌し、人間性豊かで温かい心を持つ社会人に成長される事を心から期待し、皆さんを迎える言葉とさせていただきます。

人情厚く、「スモーポリタン」の気風に溢れたこの事も沢山あるでしょが、時には悲しい事や悩む事、失敗する事があるかもしれません。然し、皆さんには若いのです。サニエル・ウルマンはその書「青春」の中で「優れた想像力、逞しき意思、燃ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こういう様相を青春というのだ」と申しております。そして、人生は戻る事のない片道切符の旅です。

一日一日を大切に、精一杯羽ばたいて、悔いのない、充実した人生を送つて下さい。

二十世紀は「教育と知識の時代」と言われています。

そして、大学教育は人生を通じての生涯学習の中で柱となる所であります。

また慶應義塾大学の創始者、福澤諭吉氏は「学問のすすめ」の中で「学問は事をなすの術なり実地に接して事に慣るるにあらざれば、決して勇力を生すべからず」と申しております。

これから勉学の中で、将来は職業に就こうと大学院に進もうと、卒業までには、自分の進む道に

対応できる力を備えることを期待しています。

何故大学に入学したのか、将来何を目的とするのかをしっかりと意識するよつ心掛けて下さい。

第二次世界大戦後の疲弊から脱却し、目覚まし

お祝いの言葉



本学を受験され、晴れて入学を許可されました新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を、心から歓迎申し上げます。

皆さんが過ごされるこれから四年間は、勉学に専念できる最後の機会です。古代中国の学者で

ある韓子は、「教育こそ百年の計だ」という言葉を

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を、心から歓迎申し上げます。

皆さんのが過ごされるこれから四年間は、勉学

に専念できる最後の機会です。古代中国の学者で

ある韓子は、「教育こそ百年の計だ」という言葉を

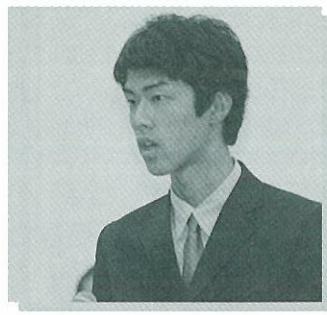
新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を、心から歓迎申し上げます。

皆さんのが過ごされるこれから四年間は、勉学



平成十四年四月五日
新入生代表 情報文化学部 情報システム学科

伊藤洋平



平成十四年四月五日
在学生代表 情報文化学部 情報文化学部 高橋 平

わたしの抱負

本日は私達新人生の為にこのような素晴らしい言葉式を挙行していただき、また心からお贈りのお言葉をいただきありがとうございます。

昨年は二十一世紀最初の年といふことで、皆、一様に希望あふれる年となるよう期待しておりましたが、奇しくも、米国での同時多発テロ事件を筆頭に様々な暗いニュースが世間を騒がせました。

このような暗く混沌とした時代の中で今、求められるものは、国内から世界へ、そして、地球規模での国際的な進歩と調和ではないかと私は思います。

また、世の中にはまだまだ対処しきれていない他の問題が多く見受けられます。ますます悪化していく環境問題見えない悪質な犯罪が増加している問題「高齢化」にもなる福祉の対応の遅れなど。これらの問題に対応できる国際人になれるよう、各自が己の目標・学業の向上・人間形成に励み、本学での四年間の生活が私達にとって意義深いものに、また、充実したものになるよう、しっかりと頑張っていきたいと思います。

最後に本学で学んでいくにおいて、本学の理念を尊重し、まだ未知に包まれてはいるものの、希望あふれる未来に向かって行く中で、自分の可能性を見出せるよう、また、大学生であると共に一人の社会人として、これから社会に貢献できるよう努力を惜しまず務めることを誓い、入学の御挨拶とさせていただきます。

大学でやりたいことが見つかったならばやり遂げてください。それがやがて財産になると私は思います。そのやりたいことが、勉強であったりサークル、クラブであったり、個人個人違うと思います。

私は皆さんに後悔のない学生生活を送って欲しいのです。やるべきことはもちろん、やりたいことはしっかりとやり遂げてほしいのです。

最後になりましたが、本学、新潟国際情報大学へようこそ!!

平成十四年四月五日
新入生代表 情報文化学部 情報システム学科
伊藤洋平

平成十四年四月五日
在学生代表 情報文化学部 情報文化学部 高橋 平

現代の学生たちも求めていることかもしれません。大学教育一筋で生きてこられた浦先生に、私は教員として自負と責務と大いにまなばさせていただきました。

もつともかく、私が本学のイキのいい若手教員たちにいわせると、私の学生たちに対する接し方は、孫を溺愛する好々爺そのものであって、教育指導になつていてない、厳しい叱咤をうけることもたびたびなのですが、

さて指導と以上的のような理念にもどり、どのような目標に向かってそれを行なうのかどういった問題がでてきます。ついで思い出されるのは、内山秀

歓迎の言葉

雑感

学習指導委員長

原口武彦

本年度から一年間、老骨ムチ打つて学習指導委員長をつとめるようになりました。本学では九年前の開学以来、学生たちの学業面の世話をすることの委員会は「学習指導委員会」と呼べてきましたが、県内他大学では同様の役割を担う委員会を、学務委員会または教務委員会と呼ぶのが一般的なようです。たとえば近所の新潟大学では、教務委員会、学業の面だけでなく学生の厚生面(本学では学生部委員会が担当)まで含めて学生生活全般について統括的に担当する委員会の場合には学務委員会と呼ばれてています。

教務学務にくらべて学習指導という呼称は、八才以上の若者たちの教育を行う大学としては幼い感じします。「大学に入つても、まだ学習させられるのかよ」「まだ指導されるのかよ」と感じる学生もいることでしょう。それにわかかわらず、本学ではなぜかの有名な名称が採用されたのでしょうか。そこには初代学長の浦昭一先生の大学教育観、教養觀が反映しているものと、私は勝手に解釈しています。教員は事務局と一緒に単に教務を司るだけではなく、学生たちの学習を指導しなければならないという思いがこめられているのではないかと思いまして。立つの教員の責務が表現されていると私は解釈しています。教員として学生たちの言動の中に感謝の言葉を送つても、「そのとおりだ」といつて毅然と諭する学生たちの前に、「そのとおりだ」といつて毅然として立つの教員の責務が表現されていると私は解釈しています。教員として学生たちの言動の中に感謝の言葉を送つても、「私はいろいろな点でまだお前じとお前とは認めない」といつて、「ひょっとするとそれは率直に指摘し対決する」といつて、ひょっとするとそれは現代の学生たちも求めていることかもしれません。大学教育一筋で生きてこられた浦先生に、私は教員として自負と責務と大いにまなばさせていただきました。

夫初代学長のおじいさんです。本学はどんな学生を育成することを目標にするのかとの問い合わせに対して、内山先生は、何よりもあれ学生たちが元気ハツラツとして実社会に巣立つて行くこと、そういう元気にあふれた学生を育成すること、表現は正確ではありますが、そのようないことをよく口にされていました。これは私流に解釈させていただければ、大学教育は、ただいたずらに学生たちのエネルギーを費消せるものであつてはならないことだつことです。私にとっては、学生たちをマラソン・ランナーにたとえれば、教員は伴走者です。だから、彼らが立ち止まつてしまつてしまつたら、指導もお手上げです。

幸か不幸か、本学ではあの過酷な受験勉強を巧みにかわして入学してきた学生がほとんどです。入学時に受験勉強に疲れはてて虚脱状態になつていると、この学生はほとんどいません。十年ぶりに書物を読んだ豪語してはばかりない学生もあります。しかし、ときどき、そんな彼らの中にまだ磨かれていらない原石の魅力を感じさせてくれる学生もいます。青少年の暴力問題にかかるテレビの自殺規制についての議論で、私が「水戸黄門」のファンであることを知つて、「でもねえ先生、だつたらどうしてあの印籠を暴力沙汰がおきる前に見せないんですか」と発言して私をたじろがせた学生もいます。しかし、四年間の大学生活で、学生たちの本源的なエネルギーを引き出し、それを損なつたり、暴発させることなく持続増大させるということは、かなりの難題です。画一的な指導は、彼らのエネルギーを無為に費消せかねません。それこそ千差万別の学生一人一人の個性、体力に見合った指導でなければなりません。幸い本学の少人数クラス制はある程度それが可能な体制だといえるでしよう。

厳格な学習指導と元気印の若者の育成、見、現代社会では一律背反に映する一つの目標の達成―それは、これがいかえれば、二十一世紀の若者が身につけるべき真の知性の確立といふことです。それは教員と学生との真摯な対決専門、芸風がさまざまに異なる老若男女の教員たちの経験の交流と相互批判、それらをねばり強く続けていくことで、本学において達成可能であると私は信じているのですが。



uestionnaire

- ①NUISを選んだ理由 ③これからの抱負
②NUISの印象 ④ひとこと

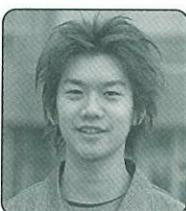
アンケート 新入生特集

4月から新しく仲間いりした8人の新入生に、NUISの印象や抱負を語ってもらいました。アンケート内容は以下のとおりです。



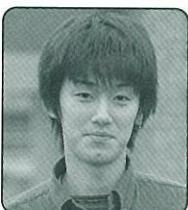
なまえ 天野まゆみ
出身校 福島県立相馬女子高等学校
学 科 情報文化

- ①国際化と情報化の両方に対応したカリキュラムがあったから。
②新しくてきれい。
③英語を上達させたい。コンピュータ関係の資格も取りたい。
④まだ不安もありますが、充実した学生生活を送りたいです。



なまえ 石丸大志
出身校 新潟県立三条高校
学 科 情報文化

- ①他国の言語や文化を学び、異文化理解や国際理解を深めたいと思ったから。
②のどかでのんびりとしていて快適、先生も親切で雰囲気がとても良い。
③大学生活を豊かで有意義にし、自分自信を向上させていきたい。いろんな体験をしてみたい。
④CEPという授業がすごく楽しいです。これを機に英語力をつけて将来外国に行ってみたいと思っています。



なまえ 桑田和征
出身校 新潟市立高志高校
学 科 情報文化

- ①国際化、国際言語について学べるから。
②設備が充実していて建物がとてもきれい。
③色々な事に挑戦していきたいと思う。
④不安がたくさんあるけど、挫折しないで頑張りたいです。



なまえ 高橋若菜
出身校 山形市立商業高校
学 科 情報文化

- ①就職率がよいから。最近の設備があるから。中国語を重点的に学べると思ったから。
②他の大学に比べて先生方との距離が近いと思った。学生のほとんどが新潟県内の人で少し戸惑った。
③英語や中国語をすらすらと話せるようになりたい。勉強とバイトを両立させたい。
④新潟は海も近くとても楽しいところだと思った。



なまえ 安沢亮介
出身校 新潟県立新潟西高校
学 科 情報システム

- ①今の時代コンピュータを使えないと就職にひびくと思ったから。
②大学にしては小さい。でも施設はきれい。
③早くコンピュータを使いこなせるようになりたい。
④友達をたくさんつくりたいです。



なまえ 伊藤弘毅
出身校 福島県立福島東高校
学 科 情報システム

- ①本格的にコンピュータを学んでみたかったから。
②建物がとてもきれい。施設が充実している。
③バイトと勉強をがんばる。最終的には資格をいろいろとりたい。
④福島と気候が似ていて生活しやすい。剣道を長く続けていたので剣道部がないのでとても残念だ。やってる人がいたら声をかけてください。



なまえ 若杉麻実
出身校 新潟県立新潟中央高校
学 科 情報システム

- ①情報化の現代、コンピュータが使えるということはこれからいかしていくと思ったから。
②建物がキレイ。学内を歩いてみて、思ったよりも広かった。
③コンピュータはあまり慣れていないので不安もあるが早く使いこなせるよう頑張る。
④思い出に残る大学生活を送りたいです。



なまえ 渡辺悦子
出身校 新潟私立北越高校
学 科 情報システム

- ①苦手なパソコンを使えるようになりました。
②きれいで広々としていて公共施設の様。
③楽しく充実した大学生活を送る。
④自然がいっぱい。空気がきれい。

平成14年3月卒業生就職決定状況

新潟国際情報大学の学生は「国際的視野」と「情報技術」そして「社会への適応能力」を持ったバランス感覚の良い学生です。

[学生の特徴1]

国際化、情報化に対応できる能力

[学生の特徴2]

高いコミュニケーション能力

[学生の特徴3]

向上心を持って自ら学ぶ姿勢

■職業別就職決定状況

業種区分	今年
国家公務員	3.0%
地方公務員	2.0%
建設業	4.0%
製造業	8.0%
電気・ガス業	0.5%
運輸・通信業	1.5%
卸・小売業	31.0%
金融・保険業	3.5%
情報・サービス業	46.5%
合計	100.0%

■就職決定先本社都道府県別

区分	今年
栃木	0.5%
千葉	2.4%
東京	17.8%
神奈川	2.9%
富山	1.4%
石川	1.4%
長野	1.0%
愛知	3.4%
京都	0.5%
大阪	1.4%
岡山	0.5%
埼玉	0.5%
新潟	66.3%
合計	100%

県内:66.3%

県外:33.7%

■就職指導新体制

就職指導委員会では、きめ細かな指導と充実した資格取得支援体制でバックアップしています。

委員長 宗澤 拓郎 教授 (情報システム学科)	佐々木 辰弥 (事務 就職課長)
委員 広瀬 貞三 助教授 (情報文化学科)	片野 博之 (事務 就職相談室長)
委員 安藤 潤 講師 (情報文化学科)	片桐 徹 (事務 就職課主任)
委員 大竹 康夫 教授 (情報システム学科)	小見 和子 (事務 就職課員)
委員 桑原 悟 助教授 (情報システム学科)	

様々な相談に親身になって応えます。就職課や担当の教員に何でも相談しましょう。

留学制度

本学では情報文化学科・情報システム学科の両学科で言語能力の向上と異文化理解を深めることを目的に留学制度を設けています。留学費用については一部奨学金が与えられます。
詳細については説明会で確認して下さい。

学科	留学生	期間	主な対象	修得可能単位	大学の紹介
情報文化学科	アメリカコース ノースウェスト・ミズリー州立大学	2002年 8月16日～9月20日	2年次生	6単位	http://www.nwmissouri.edu/ ノースウェスト・ミズリー州立大学は、3カレッジ22学部を持つ総合大学です。アメリカ中西部の大都市であるカンザス・シティから自動車で1時間半くらいのところにあるメリーヴェルという静かな町にあります。 メリーヴェル自体がノースウェスト・ミズリー州立大学を中心に作られている典型的な学園都市です。
	韓国コース 慶熙大学	2002年8月下旬 2002年12月下旬	2年次生	18単位	http://www.kyunghee.ac.kr/ 慶熙(キョンヒ)大学は韓国の首都ソウルにある名門私立大学で、1999年に開校50周年を迎えました。10学部、9大学院を持つ総合大学であり、世界50ヵ国、150校と姉妹関係を結ぶ国際交流を重視する大学です。特に、外国人向けの韓国語教育は高い評価を受けています。
	ロシアコース 極東国立総合大学	2002年9月上旬 2003年1月上旬	2年次生	18単位	http://www.dvgu.ru/ 1899年に創設された東洋大学を祖とする国立総合大学で、ロシア極東最大の有名校です。総合大学には、19の単科大学、約40の学部があり、学生数は17,000人、教員数は約890人います。寮はロシア語学校と廊下で直接結ばれており外国人用の特別なフロアを設けて治安に留意されています。なお、ウラヂヴォストーク市は日本海に面した港町で東洋のサンフランシスコと称され、冬の気候も比較的温暖です。
	中国コース 北京師範大学	2002年9月3日～ 2003年1月上旬	2年次生	18単位	http://www.bnud.edu.cn/ 北京師範大学は、北京大学、清華大学と並ぶ、中国の伝統ある名門大学で、多くの学部や研究所を持つ総合大学です。立地は北京市の中心部にあり、唯一北京市内にある大学ですので、生活や社会見学にも大変便利です。また、大学キャンパス内にある留学生寮に宿泊するので安心できます。
情報システム学科	カナダ・ アルバータ州立大学	2002年 8月4日～9月9日	2年次生	6単位	http://www.ualberta.ca/ アルバータ大学はカナダのアルバータ州の州都エドモントンにある総合大学です。そして、このセミナーはアルバータ大学の生涯教育学部が窓口となっています。生涯教育学部の重要な任務の一つは、非英語圏から来た学生に英語教育を行い、専門学部の授業を受けられるようにすることです。そのため、年間を5期(Term 1-5, 6-10 weeks)に分けた定期プログラム(English class)を運営しています。したがって、今回の夏期セミナーの「英語V」も定期プログラムのノウハウや実績を基に実施されることになるので、教員の質、授業内容とも良好です。また、通常専門の授業は専門学部の協力が必要ですが、アルバータ大学の生涯教育学部には情報(I.S.I.T)の担当者がいるため、夏休み中で学部が休暇中でも「北米社会と情報」の講義は実施可能となっています。なお通貨はカナダドルなので米国に比較し経費が安く抑えられることや、州都で都市機能が完備しており、安全な北米の都市型生活を自ら体験できるなど、多くのメリットがあります。

新任教員紹介

長坂 格 (情報文化学科)

担当科目 異文化理解、社会調査、開発論

専門分野 社会人類学、移住研究、東南アジア地域研究

経歴 国際基督教大学教養学部 卒業
筑波大学大学院 地域研究科修了
神戸大学大学院 文化学研究科単位取得退学
神戸大学大学院 文化研究科助手



●学生に向けて一言

新潟に住むのは初めてです。新潟の情報、色々と教えてください。

大竹康夫 (情報システム学科)

担当科目 情報産業、情報システム特論、情報処理演習(文)1、基礎演習1.2、情報システム演習1.2、専門演習A、卒業研究

専門分野 システム設計と教育システム

経歴 1964年 東京大学理学部物理学卒業
2000年 東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程後期満期退学
1964-1989年 NEC中央研究所およびC&Cパブリックシステム本部勤務
1989-2002年 NECユニバーシティー勤務
この間、㈱未来工学研究所に出向し、また、文教大学人間科学部非常勤講師を勤める。



●学生に向けて一言

チャレンジ!自分にとって常にチャレンジングな道を選んで自らを変えて行きましょう。
NUISは自らの可能性を大きくすることが出来る場です。

刈部恒徳 (情報システム学科)

担当科目 英語

専門分野 英語史、英語辞書学、語源学、中世英語、英文学

経歴 新潟大学人文学部 卒業
東京都立大学大学院英文学専攻修士課程修了
東京都立大学大学院英文学専攻博士課程満期退学
新潟大学人文学部教授



●学生に向けて一言

英語教育に37年間たずさわってきましたが、今でも勉強の毎日です。英語学習の意義と楽しさを伝えることが使命と思っています。一緒に勉強しましょう。

ニコラ・ハットン (情報文化学科)

担当科目 CEP

経歴 1993年 Glasgow University, Scotland
Bachelor of Education (Hons) 卒業
2000年 上越教育大学 Masters in Education (修了)

●学生に向けて一言

"My main area of research interest is in gender and education. I have researched about gender and communication in the primary school classroom, and gender and mathematics education in secondary schools, both in the UK and in Japan. As I teach in the Communicative English Program, I would like to raise student awareness to issues surrounding gender differences and English communication."

主な研究分野は、性別問題と教育です。イギリスと日本の両国で、性別問題とコミュニケーションの研究及び数学教育に携わってきました。私はコミュニケーション英語プログラムでは性別に纏わる論争を取り上げたり、また英語によるコミュニケーションができるよう育成していきたいと思っています。



教員の活動報告

臼井陽一郎

【海外研究報告】

1)〇二年二月一六日、英国ベルファスト・クィーンズ大学欧洲研究所にて、UACES (英国EU学会) 内の研究部会(Study Group) Constitutionalism beyond the nation state(コーディネーターは Prof. Jo Shaw, Manchester Univ.と Dr.A.Wiener, Queen's Univ.)に参加、論文を発表した。本研究部会は〇〇年に発足し、今回3回目の開催となる。臼井は〇一年の第二回ワークショップ(英国リーズ大学で開催)に続く2度目の参加である。同論文は同ワークショップが編集するWEBジャーナル Constitutional Web Papers 所収の拙稿の短縮版であり、Evolving Environmental Norms in the European Union という主題のもと、EUにおける環境規範の発展過程を法ディスコースと政治ディスコースの相互作用という視点から記述する概念枠組みを提案したものである。今回を含めて過去三回にわたり開催されてきた本研究部会は、英國のみならずアイルランド、ドイツ、ポルトガルなどから多数の出席者を集めた国際色豊かなものであり、そこで論文発表は今後の研究者生活にとって非常に貴重なものとなった。

2)〇二年二月、英国マン彻スター大学法学院からHonorary Staff のメンバーとして与えられるとともに、同月二〇日、同学部の教員セミナーに参加した。同セミナーでは、ジンジャー論の視点をベースにしたEU反差別化の発展に関する研究報告が行われた。授業の合間に繋がるような教員スタッフ研究会が随時開催される光景は、英國の大学の当り前の風景であり、大学教員の研究者としての意識の強さをあらためて感じさせられた。

中国社会文化学会主催

シンポジウム「巣復再考-思想の射程と近代中国」
■2001年12月1日

區建英

報告題目【巣復と政治学講義】

本報告は、主として1905年に巣復が行った政治学講義を分析し、次の要点を指摘した。巣復はこの講義で中国の近代国家建設に何を提示したのか。その力点は、国民形成の基軸を民族の均質化ではなく、民族の枠を超えたより普遍的な公共としての法制に据え、多様かつ多元的な社会を統合する国家像を構想することにあった。また、政治的自由を個人の自由に据えることによって、国民総体の自由と呼ばれる国家独立と区別し、民権が内包する專制の性向から「一民之政權」を守りつつ、民智向上による治を力説することこそ、巣復の政治学講義の要點であった。

中国社会文化学会主催

シンポジウム「グローバリゼーションと21世紀の中国」
■2001年12月1日

區建英

報告題目【改革以後の中国思想界の変化について】

1978年改革開放政策に転換して以来の中国の思想動向を、体制イデオロギーの打破と、民間知識人の思想変化という二つの侧面から分析した。体制側について指摘した点は、1978年の「真理基準討論」を契機として指導者の絶対権力を否定し、真理が個々の国民自らの実践によって検証されるという理念を打ち立てたこと、また、1992年鄧小平の「南巡講話」が象徴するように、社会主義か資本主義かといいデオイロギーの思考が打ち破られ、社会の発展と国民の福祉を政策制定の目的とする考え方が確認されたことである。民間側について述べた点は、1980年代の新啓蒙運動を通じて、知識人は体制を代弁する性格を脱却し、権力から独立した「公共思想界」が誕生したことである。

中国藝術振興会講演・日本藝術振興会講演

結晶加工と評価技術第145委員会・
将来加工技術第136委員会合同委員会
■2002年1月25日

近藤 進

インターネット・TV・動画等の伝送容量増大にともない、基幹回線から加入者回線にいたるまで、光ファイバー化が急速に進展している。この、光ファイバー伝送の光・電気変換や光制御を行うキーパイプがInPを基板とする長波系(1.3~1.5ミクロメートルの赤外光)の半導体光素子である。これらの素子は、それぞれの高性能化とともに、サイズ・整合性・経済性の観点から集積化(光IC化)の研究が盛んに進められている。本講演では、これら半導体光素子の集積化技術の動向、最新の集積化素子について解説した。

日本マーケティング・サイエンス学会

■開催日:平成13年12月7日
■場所:法政大学

正田達夫

発表題目「ウェブサイトのインターラクティブ性・2」

11月に本広告学会で消費者モニター300名によるウェブサイトのインターラクティブ機能の評価と総合評価との相関の分析を発表した。この発表は、統一して、同時に実行した懸賞募集サイトで募集した調査結果と前回のモニター調査結果と比較して両者の結果がほぼ等しい分析結果から、問題によつては、懸賞募集サイトによる調査も有効であることを報告した。なお、この発表は塙田先生との本学共同研究の一部です。

ライフスタイル研究会

■平成14年4月18日
■企業ウェブサイト調査・インターラクティブ機能の実態、将来性と問題点

正田達夫

本学共同研究の一部として、13年12月に実施した企業ウェブサイト調査の報告です。消費者が求めているインターラクティブ性に企業がどのように対応しているか、また、ウェブサイトの将来性と問題点は何かを報告し、筆者としての問題解決の提案を行つた。

IATEFL

■2002年3月24日
■Demystifying Institutional Practices

Three approaches to the teaching of English for Academic Purposes (EAP) are identified, the Critical approach, the Pragmatic approach, and the Critical Pragmatic approach.

After explaining the strengths and weaknesses of these approaches to Academic Writing in British Universities, a number of activities are discussed that can help teachers prepare their students for post-graduate study and research.

大学に行こう!

新潟国際情報大学では、高校生の君たちを迎えるイベントがいっぱい。
さまざまな角度から、NUISを体験してみよう

見る見る 膨らむ 夢への一歩

NUIS 進路研究セミナー

■予定スケジュール

11:00~11:50 「進路について考えよう」学外有識者による講演

11:50~12:35 昼食

12:35~13:45 「大学ってどんなところ?」パネルディスカッション

13:55~14:25 入試結果速報報告

14:25~15:25 「NUISの魅力を語る」パネルディスカッション

※昼食は学生食堂にて無料提供します。ぜひご試食ください!

新潟国際情報大学 OPEN CAMPUS オープンキャンパス

■平成14年7月27日(土)、10月5日(土)
10:00~15:30

■CONTENTS

●学部・学科紹介

●入試問題の傾向と対策

●コンピュータ実習

●入試個別相談

●就職相談

●入試情報説明

●模擬講義

●カリキュラム、履修説明

●海外留学相談

●在学生による何でも相談

※昼食は学生食堂にて無料提供します。ぜひご試食ください!

大学ではどんなことを学ぶの? NUISの特色ある講義を体験しよう!

NUIS-LIVE

～国際化・情報化を体感～

■8月20日(火) 10:00~16:00

情報システム学科、情報文化学科、両学科共通の15講義を開講します。

平成15年度 入学者選抜試験概要(要約一覧)

○詳細は募集要項をご確認下さい。

入試区分		募集人員		出願期間	試験日	試験地	試験実施教科・科目
推薦	高校長推薦指定校制	情報文化学科	10	30 14.11.1(金)~ 14.11.11(月)	14.11.17(日)	新潟	本学が指定校と定めた高校長あて推薦依頼を行います。
	高校長推薦公募制	情報文化学科	30				面接・小論文 学力推薦要件:全体の評定平均値4.0以上又はいずれか1教科の評定平均値が4.2以上であること。
	高校長推薦スポーツ	情報文化学科 情報システム学科	若干名				面接・小論文・基礎体力テスト
特別選抜社会人		情報文化学科 情報システム学科	若干名				面接・小論文
一般	前期	情報文化学科 情報システム学科	35 60	95 15.1.7(火)~ 15.1.24(金)	15.2.3(月)	新潟 上越 東京	・国語:国語Ⅰ・国語Ⅱ(いずれも古文・漢文を除く) ・数学:数学Ⅰ・数学Ⅱ(数学は、微分・積分を除く) ・外国語:英語Ⅰ・英語Ⅱ 上記3教科の中から2教科を試験場で選択
	大学入試センター試験	情報文化学科 情報システム学科	15 20	35 15.2.7(金)~ 15.2.17(月)	15.1.18(土), 19(日)の入試センター試験を受験していること。		学科試験を課さず、15年度のセンター試験の成績で判定。全教科の中から2教科2科目選択 配点:各教科100点 3科目以上受験した場合は高得点の2教科2科目を合否判定に使用
	後期	情報文化学科 情報システム学科	10 15	25 15.2.24(月)~ 15.3.5(火)	15.3.10(月)	新潟	・国語:国語Ⅰ・国語Ⅱ(いずれも古文・漢文を除く) ・数学:数学Ⅰ・数学Ⅱ(数学は、微分・積分を除く) ・外国語:英語Ⅰ・英語Ⅱ 上記3教科の中から2教科を試験場で選択

●入試に関する問合わせ先

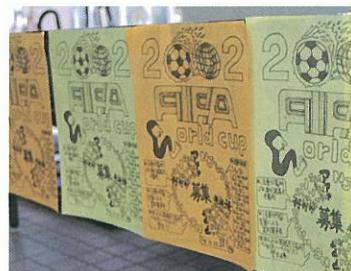
新潟国際情報大学学務課 〒950-2292 新潟市みすき野3丁目1番1号 電話(025)239-3111 FAX(025)239-3690

2002FIFAワールドカップ™で、ボランティア活動を行います!!

5月31日から6月30日まで、日韓共催による2002FIFAワールドカップ™が開催されます。日本国内10会場のうち、新潟県では新潟スタジアム(ビッグスワン)で、6月1日、3日、15日の3日間、6カ国の代表が熱戦を繰り広げます。

本学では、この世界的なイベントを機に、語学力を活かしたボランティア活動を実施することになりました。当日は、さまざまな国から多くの方々が新潟駅に来られます。そうした方々と案内業務の補助を通じてふれあい、国際交流や外国語会話の実践に努めること、そして何よりも、ボランティア活動に積極的に参加することの重要性を肌身で感じてもらうことが目的です。

参加者を募集したところ、126名の学生が応募。全員がオリジナル・ユニフォームとして、Tシャツを着て活動します。有志らの活躍に、ご期待ください。



活動日時予定

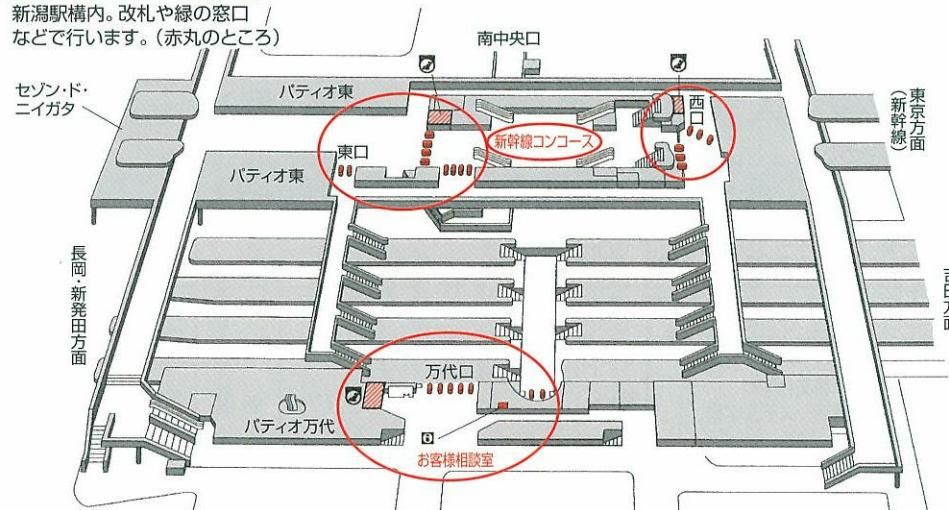
5/31(金) 18:00~24:00
6/ 1(土) 9:00~24:00
6/ 2(日) 9:00~12:00
17:00~24:00
6/ 3(月) 9:00~24:00
6/ 4(火) 9:00~12:00
6/14(金) 18:00~24:00
6/15(土) 8:00~26:00
6/16(日) 9:00~12:00

活動内容

外国語での案内補助。



活動場所



このような答えから、「学ぶことが出来たこと」とともに「学べなかつた」ことも調査しており、これは不満ということがありますから教員と一緒に披露しました。「顧客満足」という言葉がマーケティングではキーワードですが、大学も学生が満足する教育や環境の改善に努めております。
大学やこの「国際情報」へのご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

卒業生にアンケートで「大学の良い点を、後輩や入学希望者に伝えるとしたらどのようなことがありますか?」と聞きました。答える内容です。

第一位「パソコンを自由に使える」
第二位「自由な校風で、自分のやりたいことができる」
第三位「幅広い分野で学べる」「教授に聞ける」など「教育内容の良さ」

第四位「大学が奇麗」と「友達ができる」さらに「少人数教育」「海外留学ができる」「空気がよい。自然が多い」などでした。

次に、「新潟国際情報 大学で良く学べたもの?」という質問には左記のように答えています。

- | | |
|-----|-----------|
| 第一位 | インターネット |
| 第二位 | 国際化の理解 |
| 第三位 | 異文化理解 |
| 第四位 | 情報処理演習 |
| 第五位 | コンピュータと通信 |
| 第六位 | 地域言語 |
| 第七位 | 情報システム |

三月二十二日に卒業式があり、二八五名の第五期生徒が社会へ飛び立って行きました。

湧 YUUGEN 源
編集後記に代えて
広報委員長 正田 達夫